

チチブ

ワンウェイコート

施工要領書

秩父コンクリート工業株式会社

使用材料

- ① 基礎補修モルタル 15 kg/袋
 - ② ワンウェイコート 18.3 kg/セット(16 m²用) (粉体 11 kg/袋・液部 7.3 kg/缶)
23.3 kg/セット(21 m²用) (粉体 14 kg/袋・液部 9.3 kg/缶)
- (色：グレー・ベージュ)

1. 使用材料の用途

- ① 基礎補修モルタル 15 kg/袋
コンクリート下地のピンホールや段差補修に使用します。
- ② ワンウェイコート 18.3 kg/セット・23.3 kg/セット
仕上げ材です。
18.3 kg/セットは約 16 m² (1.1 kg/m²) 施工可能。
23.3 kg/セットは約 21 m² (1.1 kg/m²) 施工可能。

2. 用意するもの

- ・ 高速ハンドミキサー (800 rpm以上)
- ・ 練り混ぜ容器：ペール缶
- ・ カップサンダー：コンクリートの不陸処理に必要。保護メガネ、マスクを着用する
- ・ 砂骨ローラー(標準目)、ハンドル、バケツ、刷毛
- ・ 養生テープ、マスキングテープ
- ・ 金コテ、ゴムベラ

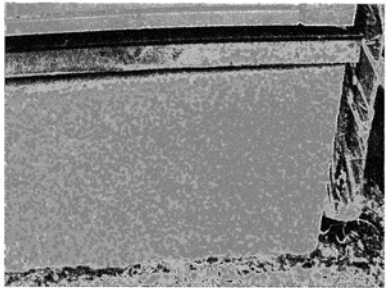
3. 注意事項

- ① 気温 3℃以下での施工は避けてください。
- ② 下地に発生しているクラックは事前に処理します。
注・重度のクラックはエポキシ注入、軽度のクラックは弾性目地シールなどを充填。
- ③ 材料が固着する前に、道具類はこまめに洗ってください。
- ④ 洗いは白濁しているので、敷地外に流さないでください。
- ⑤ 粉体は雨水を避け、湿気の少ない屋内に保管し、地面に直接放置しないでください。
- ⑥ 液部は凍結しないよう、屋内に保管してください。

4. 施工要領

工程	作業名	作業内容	工程写真
1	事前準備	<p>1-1 基礎表面の土をGLから10cm程度掘り下げてください。</p> <p>1-2 施工面に付着している土やホコリ、レイトンスは、ブラシなどで清掃してください。</p> <p>1-3 水切りや雨樋は養生テープなどを貼ってください。</p> <p>1-4 下地の型枠段差や凸部はカップサンダーなどで削り落とし、平滑な面にしてください。</p>	
2	基礎補修モルタルの施工	<p>2-1 練り混ぜ容器に基礎補修モルタルを入れ水を約5.3ℓ入れ高速ハンドミキサーで練り混ぜを行います。(1度練り混ぜた材料は60分以内に使用して下さい。)</p> <p>2-2 金ゴテでピンホールや型枠段差の凹部に塗り付けます。</p> <p>2-3 硬化後、スクレーパーやサンドペーパーをかけて平滑にします。</p>	<p>基礎補修モルタルの塗り付け</p> 
3	ワンウェイコートの施工	<p>3-1 基礎補修モルタルが指触乾燥していることを確認してください。</p> <p>3-2 液部に粉体部を徐々に加えながら、高速ハンドミキサーで2分間練り混ぜます。</p> <p>3-3 砂骨ローラー(標準目)を使い60cm程度の幅で横にネタ配りを行ないます。</p> <p>3-4 縦方向で上から下方向に仕上げを行います。</p> <p>注・使用量 1.1kg/m²に均一に材料を塗布してください。</p> <p>注・凹凸目が出るように仕上げてください。</p> <p>3-5 水切りの際などローラーが入りにくい箇所は刷毛で塗ってから塗り付けてください。</p>	<p>ワンウェイコートの塗り付け</p>  



4	埋め戻し・養生	<p>5-1 水切りの養生テープはできるだけ早く剥がしてください。</p> <p>注・養生テープにワンウェイコートがかぶっていると剥がれる場合があるのでカッターで切れ目を入れながら剥がしてください。</p> <p>5-2 ワンウェイコートが指触乾燥していることを確認してから埋め戻しをします。</p> <p>5-3 仕上がり面にキズや埃が付かないよう注意して埋め戻しをします。</p> <p>5-4 低温時の施工は養生シートで覆うなど保温対策をして下さい。</p>	<p>施工完了</p> 

<注意事項>

【施工上の注意】

1. 施工中に降雨・降雪が予想される場合は、なるべく施工を中止してください。乾燥に時間が掛かり、仕上がりも色むらなどの不具合の原因となります。
2. コテ等諸道具は材料が固着する前にコマメに水洗いしてください。
3. 誤って材料を他の部位に付けてしまった場合は、直ちに水を含んだウェスで拭き取ってください。
4. 塗りつけは硬化・乾燥の遅い北面から始めて、東面、西面、南面の順に施工すると良いでしょう

【ワンウェイコートの施工上の注意】

1. 液部は缶を開ける前に、良く振ってから使用してください。
2. 一度練り混ぜた材料は夏期 30 分、低温時は 45 分以内に使い切ってください。
3. 一度練り混ぜた材料に水は加えないで下さい。
4. 1.1kg/m²の使用量を守って、均一に材料を塗りつけてください。使用量にムラがあると仕上がりにムラがでます。
5. 夏期で1時間、低温時では2時間程度は雨が当たらないよう養生します

ワンウェイコート施工工程



1

ワンウェイコート 粉体 11 kg
液部 7.3 kg



2

高速ハンドミキサーを廻しながら、
粉体部を入れ 2 分間練り混ぜる。



3

砂骨ローラー(標準目)で横方向に
ネタ配りを行う。



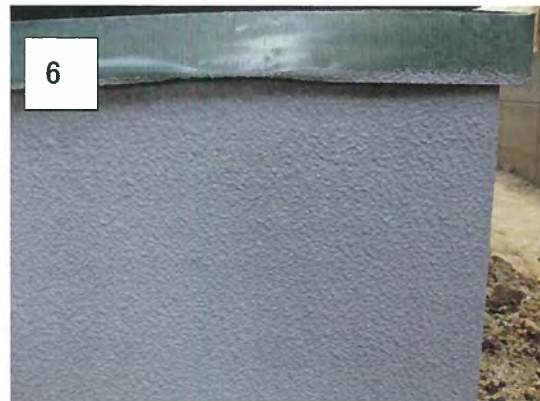
4

縦方向で凹凸目が出るように上から
下方向に仕上げを行う。



5

仕上がり



6

仕上がり

施工道具



カップサンダー、コードリール、保護マスク、保護メガネ



練りバチ、練りサジ、金ゴテ



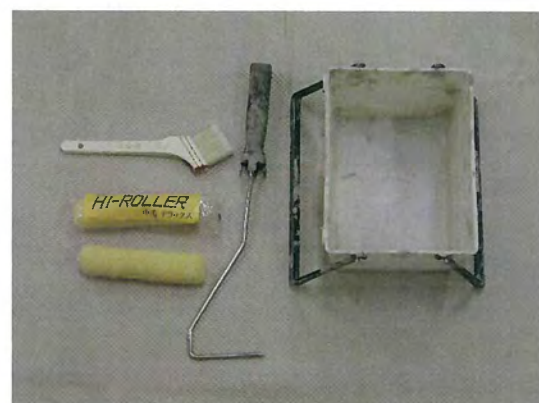
カワスキ、スクレーパー(取っ手の先にカッターの刃が付いたもの)



練り混ぜ容器、高速ハンドミキサー(回転数が800rpm以上)



マスキングテープ、養生テープ



バケツ、刷毛、ハンドル、砂骨ローラー(標準目)